

ダンスの先生へ

ラジオネーム：ダンサーケイ

先生が亡くなったと友人から連絡が入って、突然のことに驚きながら、最後のご挨拶をしようとなんとか調整したものの伺えずにごめんなさい。手紙、届くといいな……

先生の教室に、初めて行ったとき、私は泣いて泣いて大変だったと聞きました。私自身は覚えていないのですが、母が撮ってくれていたビデオテープを見ると、それはもう大泣きで、「やだー！しないー！」と叫ぶ私がいきました。ただ、そのあと少し落ち着いてきた私に、「一緒におどってみようっ！」と先生が右手を差しよべてくれて、その後は楽しそうにダンスをおどっている様子もすっかり映っていました。そのビデオテープを見て、「ちょっと恥ずかしいな」と思うと同時に、そのときに先生とつないだ右手がなんだか温かくなった気がして、あのとこの温もりを改めて心に刻みました。

本格的にダンスのレッスンに参加するようになって、鬼に変身したかのような先生がいて、「その振りは違っどっしょー！」その動きちゃんと合わせる！」スタジオで音楽が大きめに流れている状況でも、ちゃんと聞こえる先生の厳しい言葉にビクビク……それ以外にも、「靴を揃えなさい」「衣装を大切に扱いなさい」

そしてなにより、「あいらひはちゃんとなさい」「大切なことをたくさん教えてくださいました。当時は怖くて仕方がなかったのは、今だから言えることです。

厳しいレッスンを乗り越え、迎えた発表会。緊張してしまい、ここでもまた涙を流してしまった私を見て、先生は両手をしなび、「大丈夫、たくさん練習してきたんだから、楽しんでおどっていらっしゃいよ、あのおまと同じ手の温もりで送り出してねえましたね。

私もダンスの先生になって10数年。ついこのあいだ体験に来てくれた子が泣いてしまい、なかなかレッスンに参加できませんでした。ふと、先生が私に「っへんたこいを思て出っ」「一緒におどってみようっ」「右手を差し出すよ、泣き止んでおどってねえました。先生の手の温もり輪が広がっているようで、嬉しかったです。

先生、ありがとうございます。先生が教えてくださいましたいよ、子どもたちにもわからせ教えてくださいますわね…

リクエストは、先生と踊った思い出の曲です。

＜ JOYFULシンセ / コーティング娘。 ＞